

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 高齢大腿骨近位部骨折患者における術後早期移動能力と中長期生命予後の関係

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 播井宏充 (リハビリテーション部・理学療法士)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：2025年7月22日～2026年6月

目的：高齢大腿骨近位部骨折術後患者において、術後早期のCASスコアを含めた手術前後の因子が中長期的な生命予後（死亡率）にどの程度影響を与えるかを後方視的に明らかにする。術前および術後の因子がそれぞれどのように関連するかを術後30日、120日、1年時点での生命予後や住居（退院先）、および歩行能力に与える影響を検討する。

方法：後方視的コホート研究

■ 対象となる患者さん

2023年1月から2023年12月までの間に大腿骨近位部骨折を受傷し、当院でリハビリテーションを受けた65歳以上の方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：性別、年齢、BMI、骨折歴、既往歴、介護者の有無、骨折側、病的骨折の有無、骨折の種類、ASA分類、手術法、入院時から手術までの待機時間、血清アルブミン値、入院前の住居・歩行能力、CAS、MMSE、手術後30日、120日、1年の住居・生命予後、術後合併症（肺炎、心不全、肺塞栓症、尿路感染症など）の発生、輸血の有無等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

播井宏充、リハビリテーション部

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971